

第81回排泄ケア講習会 in FUKUOKA

日時：令和7年11月28日（金）19：00～20：00

開催形式：オンライン開催

参加費：1,000円 正会員(個人)と学生は無料です

申込・参加費支払締切日：11月26日（水）

Field※：B（排便管理）

※ Field A：排尿管理 / Field B：排便管理 / Field C：感染対策 / Field D：その他（スキンケア・オムツはずし・認知症・介護・保険 他）詳細はホームページ「排泄ケア認定制度のご案内」をご参照ください。

テーマ：排便について知識を深めよう

高齢者になると排便障害のトラブルが増加する。治療者・介護者は、「明日は我が身」を念頭に置き、的確に診断し患者の症状緩和に努める。高齢者では、認知症、フレイル、寝たきりが増加し、認知機能性便失禁、溢流性便失禁が起こりやすい（2024年版便失禁ガイドライン（南江堂）（A）収載）。便排出障害（直腸性便秘症）を併発していることが多く、直腸の便遺残の有無を肛門指診やUS、XPで診断する。便排出障害に対する適切な排便コントロールが便失禁の解決につながることも多い。便排出障害では、便貯留継続、過度のいきみ、腹圧低下（円背・（臥位、非適切座位排便姿勢）が原因となる。骨盤解剖学的破綻（会陰下垂症候群、不顕性直腸脱、骨盤臓器脱）例では、排便困難は重症化する。坐薬、浣腸による排便は、壁内神経系が主役の腸蠕動・排便反射の結果である。便失禁を誘発する刺激性下剤は慎重投与とし、自然排便をもたらす新レシカルボン®坐薬の活用を増やす。

開会の挨拶：武井実根雄 先生（NPO 法人 福岡排泄改善委員会 理事長）

座長：高木良重 先生（福岡大学医学部看護学科 講師）

講演

「高齢者の便失禁と便排出障害（直腸性便秘症）：診断と治療」

講師：豊原敏光 先生（朝倉健生病院 大腸/肛門外科）

閉会の挨拶：今丸満美 先生（NPO 法人 福岡排泄改善委員会 副理事長）

主催：NPO 法人 福岡排泄改善委員会

後援：福岡市泌尿器科医会、福岡市医師会、福岡県看護協会

NPO 法人 福岡排泄改善委員会 事務局

（月曜～金曜 9：00～17：00 土・日・祝日 休）

〒812-0033 福岡市博多区大博町 1-8

TEL：092-282-5910 FAX：092-282-5812

福岡排泄改善委員会

ホームページ2次元コード

